



2022年8月発行  
社会福祉法人 ありのまま舎  
(障害者自立企画)  
発行責任者 白江 浩  
編 集 佐藤 環  
〒982-8544  
仙台市太白区西多賀4丁目19-1  
TEL022(243)1300  
<http://www.arinomama.or.jp/>  
E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

### 第22回ありのまま自立大賞授賞式開催 、感染症対策を行い、3年ぶりに開催

7月23日(土)14時より仙台市福祉プラザを会場に第22回ありのまま自立大賞授賞式が開催されました。2019年から新型コロナウイルスの感染拡大により2年間の中止となりましたが、選考委員長の瑤子女王殿下と協議を行い、オンラインを活用しながらできることは再開し、今の状況だからこそ、それをどう伝え、継続していくことを大切にして進めて参りました。初めての試みとしてオンラインにて会議と面接を行い、議論を交わしながら行うことができました。

最終選考の結果、長崎みなとメディカルセンターの耳鼻咽喉科医師 吉田翔様が自立大賞を受賞されました。吉田様は生まれつき両耳の難聴でしたが、ご両親は言語聴覚士の指導の下、独自の指導方法で熱心な指導を続けてこられ、医師として活躍される道に大きな力を与えられました。現在は耳鼻咽喉科専門医を目指す努力が続けられています。

当日は長崎県からご家族と共にご出席くださり、直接お会いして共にお祝いすることができました。



(前列右) 瑤子女王殿下・吉田翔様・ご家族  
(後列右) 中園委員・前島委員・白江委員

7月に入り全国でコロナ感染者が急拡大し授賞式開催については細心の感染症対策を実施して行いました。中には県外から来られる予定だった方は残念ながら欠席のご連絡をいただいた方もおられました。感染症対策を行いながら以前と近い形で授賞式を無事に行うことができました。

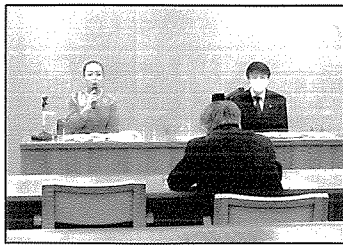
### 薫る風

冒頭に「三年ぶり」と付けることが増えた。と思っていたら、またまた感染者が急増し、三年前をしのぐ数の方が感染していることが日々報道されるようになった。これまでの繰り返しは縮小や感染対策の強化で実施されるようになった。行動制限となる宣言や重点措置などもなく、ありのまま舎の活動も今年度は予定通り進んでいる。オンラインを使ったり、基本的な感染対策を強化したりと工夫しながらの恐る恐るの活動再開だ。六月の福祉講座に続き、自立大賞選考委員長の瑤子女王殿下のご助言もあり、継続の重要性と感染リスクの軽減努力や工夫を凝らすことで、何とか実行できたことは良かった。授賞式へのご案内の対応範囲も限定し、クラスターなどが発生しても対処しやすい体制もとった。座席の間隔をあけるなど、基本的対応は徹底できた。その甲斐あって、現段階で参加者の中から陽性になったというご連絡は一週間経過してもない。「三年ぶり」ということもあり、受賞された吉田様の挨拶や委員長のお言葉に込められた思いは、自立大賞の趣旨(故寛仁親王殿下と故山田富也専務の思い)に沿うもので、改めて心に沁み、再開の意義を確認できた。会の進行や運営に反省点はあるが、再開できた安堵感と委員長の前向きなお言葉が全てを語っているように思う(本紙本文参照)。太白ありのまま舎での打ち上げ花火は二年ぶりに、地域夏祭りのフィナーレに実施できた。一昨年はお祭りが中止の中、独自に打ち上げ、地域の方から喜びのお声を頂いた。昨年は台風の影響で独自の打ち上げもできず、初めて中止となる寂しい夏となった。そして今年も天候にも恵まれ、入居者にとっても、地域夏祭りのフィナーレとしても思い出に残る光景になったと思う。(白江浩)

### 記者発表

授賞式に先立ち、7月15日(金)に宮城県庁にて記者発表が行われ、瑠子女王殿下に御臨席を賜りました。

「今回の自立大賞は委員の皆さんと共にしっかりとオンライン面接を行い文書での経緯などでも議論を行ってやり取りをさせて頂いて決定をさせて頂きました。このようなCOVID-19の状況がある中で継続をすることがどれだけ大事かという事を皆さんにも分かって頂きたいと思いましたが、オンラインでもやれることはやりませんかとお話させていただき今回に至りました。様々な障害を抱えている人、苦悩を抱えている人、それでも立ち向かっている人たちをちゃんと私たちが汲み取る、救い上げることがしっかりとやっていければなと思っております。」とおことばを頂戴しました。宮城県内の報道関係者の皆様にお伝えすることができました。



瑠子女王殿下と白江理事長  
(宮城県庁)

### 自立大賞授賞式

7月23日(土)の授賞式には50名の近い方々にご出席いただきました。ご多忙の中、選挙委員長の瑠子女王殿下に御臨席を賜りました。

「今回2年ぶりにオンラインではありませんが、ありのまま自立大賞を行えたこと本当に嬉しく思っています。やはり継続というのとはとても大切なことですし、父が頑張ってやってきた障害者福祉活動というものを続けていくのも大変だと思っております。今回オンラインでもとても白熱した話し合いをさせていただいてオンラインであっても、コミュニケーションという話し合いをするのはとても大事なことと思いましたが、それぞれの意見を聞くことが人間にとって大切なことなのだとこのことを改めて考えさせられました。」

今回、受賞された吉田さんも大変な「苦勞を重ねられながら、今日までいらつしやいました。これからも新たな活動や、より深い活動をしていただけると、ありのまま自立大賞が糧となつてもらえればいいと思っております。約3年マスクをする生活が続いているわけですが、いまだに慣れる事はありません。特に私も難聴ですので、マスクをすることによって、相手の方

が、どういふことを話されているのか100%聞くのはより難しくなつてしまいました。ですが必ず、いつかはこの生活がなくなると思っております。次回は皆様と共にマスクなしの皆様表情が見られることを本当に願つて、私の挨拶とさせていただきます。」とおことばを頂戴しました。



瑠子女王殿下

### ありのまま自立大賞 吉田翔氏(長崎県)

佐賀県(ご出身)、出生当時、新生児スクリーニングがまだ普及しておらず、ご両親が発語が遅れていることを病院に相談したところ、3歳で先天性難聴と診断を受けました。

医療の中では3歳までに言語獲得をしないと話すのは厳しいと言われている中で、ご両親は言語聴覚士の指導の下、独自の指導方法で熱心な指導を続けられました。小学校からは普通学校に通い、補聴器が注目的で、ご両親が大きな支えとなり

ました。中学校から始められたバレーボールではデフリンピックバレーボール日本代表選手として世界で活躍されるまでになりました。22歳の時の講演活動をきっかけに自分のように困っている人たちの力になりたいと思ひ、経験だけではなく、医学的な知識もふまえた支援を行うために医師を目指し、2年の道のりを経て目標を達成されました。現在は耳鼻咽喉科医として専門医になるべく、今なお努力されておられ、聴覚に障害や病気を持った方に寄り添う医師になるという決意を強く感じます。

「このような私を評価してもらい、今まで実感が湧かなかつたですが、この場に立つて、やつと実感できたと思ひます。先ほど、いろいろご紹介がありましたが、いい結果のようにはなつていませんけど、僕は今まで健常者に負けたくないというのがモットーで生きてきました。」

先日、瑠子女王殿下の講演を聞かせて頂き、共感を持てるところがありません。私も健常者と障害者、区別するものは全くないなと思つていて、健常者の方にも何かしら障害はあると僕は言つていきます。その人の苦しいことが障害の一つであると僕は言つていきます。できないことに対して、見えない壁、どうやってそれを突破するのかわか

も講演会で説明させてもらっています。

「障害」は、僕はマイナスなイメージはゼロです。プラスと思つて生まれて、親を恨んだことは全くなかつたです。むしろ幸せだと思つていきます。なぜポジティブになれるかは分からないですけど、やはり難聴を持ったからこそ、家族はじめここにいる人と出合いが増え嬉しいことです。これを通過点と思ひながら耳鼻咽喉科の専門医を目指していったらいいなと思つています。」と御挨拶をいただきました。

受賞された吉田翔さん、おめでとうございました。



吉田翔様

出席者の皆様には感染症対策のご協力をいただき無事に開催することができましたことに心より感謝致します。今回の経験を活かし、次の自立大賞に繋げていきたいと思います。

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎「ケア」】

感染対策のため制約がある中で生活して頂いていますが、気分転換になるように入居者のやりたいことを実現する企画を定期的に開催しています。

今までお花見や、ケーキバイキング等を行いました。やりたいたい事をばつと思いつく方もいますが、「何だろう、特に何もないなあ。」と中々思いつかない方もいます。しかし、普段の何気ない会話の中にヒントが隠れていることがあります。

特に思いつかないと話している方も、自前のジュースやグラタン等を食べるのを楽しみにしていたり、以前よく外食をしていたという話を伺いました。そこで、近所のスーパーやコンビニに買い物に行き、自分で食べたいものを選んでもらう計画を考えています。

また、絵や詩を書くのが好きな方は「これ作っただけだね、飾る場所がないんだよねえ。」と話されていたので、廊下に作品を飾り展示会をしたいと思っています。

制約がある中の生活ではありますが、今の状況で少しでも楽しく過ごせる方法を考えていきたいと思っています。

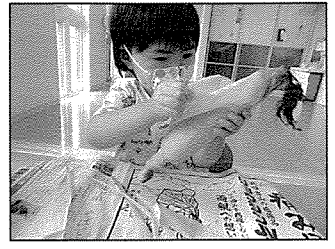
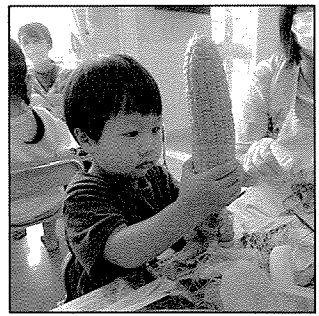
(緑川朝美)

【チャイルドケア

仙台ありのまま舎保育園】

8月に入り、夏もいよいよ後半戦。お盆を過ぎたあたりから少しずつ秋の気配を感じられるようになる時期ですね。コロナ禍前に実施されていたお祭り等も再開したりと少しずつ楽しめることが戻ってきました。

今年の夏は家族でどんな思い出ができましたか？楽しい経験がまた一つできたでしょうか。子どもたちの成長、発達には沢山の経験や発見が大切です。先月、とうもろこしの皮むきをしました。皮をむき、実が出てくると「おいしそう」と喜ぶ



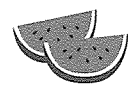
真剣に取りくむ園児たちの姿がありました。

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)

ぶも、茹でて食べてみると、ちよつぱり困惑した表情。茹でて食べやすい大きさには切つてい

ますが、かぶりついて食べるというところに困った様子。お皿にほぐしてスプーンを出すと嬉しそうに食べていました。なるほど。私たちにとつても勉強になる経験となりました。また小さいということもありますが、野菜や魚等、調理前の姿を見たり、茹でてそのまま食べるという経験が現代の子どもたちは少ない

かもしれません。時間がある時に、食材を見ながらゆつくり買物したりと発見する機会を作ることができるといいですね。(春日麻里)



西多賀エリア

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

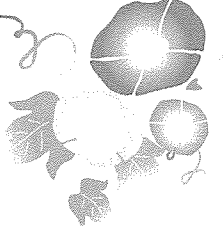
自立ホームの町内会では6月〜11月まで月1回朝掃除があり、また年二回ほど近くの公園掃除にも参加しています。同じ班の方と回覧版を回す時にお顔を合わせ、季節の話題など立ち止まってお話を交わしています。皆さんお庭に沢山の花々を育てておられ、入居者の方と良い散歩コースになっています。春

の時期はハナミズキ、ヤマブキ、藤の花、ドウダンツツジなどたくさんの花々が見渡せ、入居者の方にお花の名前を教えて頂き、ご近所の方ともお話ししながら過ごすことができました。

地域の皆さんもホームの入居者のことを気にかけてくださり、「コロナで大変ですが、皆さんお元気ですか。」「どんな方が生活をされているんですか。」など声をかけて下さっています。

また6月と7月に開催した「ありのまま生活福祉講座」と「自立大賞授賞式」に町内会から参加くださった方もおられ、お会いするといつも感想をお伝えさせていただきます。

コロナ禍で対面での交わりが難しくなっていますが、変わらない方々がいつも近くにおられ挨拶ができる関係をとつても難く、幸せに感じます。(佐藤環)



【サポートケア仙台ありのまま舎(難病・障害者相談支援センター)】

7月開催の若林区障害者相談支援事業所等連絡会にお招きいただき、行政機関、相談支援事業に携わる方等と一緒に障害のある方の地域づくりを考える場について共有させて頂きました。私がお伝えする内容として頂いたテーマが、障害のある方が地域で暮らすためのより良い環境づくりを検討していく自立支援協議会(以下、協議会)構築のために求められていること、協議会における事例検討の意味や進め方などについてでした。

協議会については、機能や役割から追った構築のモデルについて解説させていただいたこと、事例検討については障害のある方が暮らしやすい街づくりを考えていく上で何が困りごとにつながるのか、必要な社会資源としてどのようなサポートが必要とされているのかなどを個の課題から地域の課題につなげていくための大事な取組みになること等をお伝えしました。

6月に出された社会保障審議会障害者部会報告書の中にも協議会について「形骸化を指摘する声がある。」の一文がありました。協議会の取組みが障害のある方への地域生活支援を担うことを改めて捉えつつ実践していきたいと思っています。

(齋藤栄樹)

名取エリア

【サポーターケア名取ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】  
 今回も「相談者さんへの「インタビュー」ということで、第4回はMさんをご紹介いたします。Mさんは、就労継続支援B型事業所でお仕事されている20代の男性です。作業内容はマンションの清掃や農作業、内職作業など様々なことに取り組まれています。

一、楽しみにしていること  
 「お買い物と新商品パトロールです。大辛や山椒、スカンピソースなどの調味料を買います。カップ麺に入れたり、焼肉のタレに混ぜて食べます。汗はかくけれど、辛いものは大好きです。」

二、頑張っていること  
 「マンションのドア拭きを任せられています。クモの巣を払うのは大変です。葡萄の木の枝を切ったり、えごま収穫後にゴミを取ったりするのも大変です。」

三、目標など  
 「マンションの定期清掃で床にワックスがけができるようになることです。」  
 責任をもってお仕事に取り組みながら、余暇の時間を楽しんでいるMさん、これからも目標に向かってお仕事に取り組めるようサポーターとして頂ければと思います。  
 (澤田石裕子)

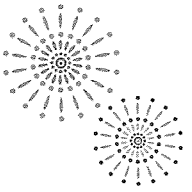
県南エリア

【サポーターケア県南ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】  
 今年度に入り、障害がある方の出産前後の支援について他機関から相談依頼をいただく機会が増えていきます。

様々な家庭背景や環境の中、妊婦時に必要な支援や出産後の子育てを相談支援事業所として当事者の方をどこまで障害福祉サービス等の枠で生活を支え応援していくかを考えさせられた依頼でした。

行政機関の児童部署だけでなく、多岐に渡り子供を支えるためにも切れ目のない支援を実現させるために連携することの意味や重要性を今回学んだと思います。

福祉サービスの情報や知識だけでなく、様々なニーズに対して情報収集することを怠らず、専門機関との連携や橋渡しを意識しながら、これからも相談者1人ひとりの様々なニーズに応えられる相談員を目指していければと思います。  
 (蒲生豊二)



基幹相談支援センター

【サポーターケア亙理ありのまま舎 開所から3年以上が経過しており、施設の設備にも不具合が出始めています。特に生活に直接関係のある洗濯乾燥機、給湯器にも不具合が出てきました。乾燥機は電気式の乾燥機を使っていますが、乾燥までに時間がかかるため、どうしても使用時間が長くなってしまいました。また入居者の方も増えて、その分洗濯物も増えましたので負担がかなり故障してしまいました。給湯器も同じで入居者の方、そして外部利用の方の入浴の対応もあり、ほぼ毎日入浴を行っています。想定以上の使用頻度となり、お湯が出なくなってしまう不具合も発生しており、修理が必要とのことでした。また入浴に使う電動ストレッチャー(入浴用担架で、電動で高さが変わります)のバッテリーも耐用年数が3年ということ、充電しても使えなくなってしまうバッテリーも出てきました。

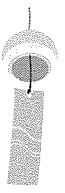
設備や機器など不具合が出る度にマニュアルを確認して出来る限り対応していますが、各機器の保証期間は1年間のものが多く、修理となるが増えています。改めて正しい使い方を守り、出来るだけ長く、大切に各設備・機器を使っていく必要性を感じています。  
 (事務局・ケア 金子仁)

基幹相談支援センター

【サポーターケア亙理ありのまま舎 基幹相談支援センター】  
 6月16日(木)に亙理町中央公民館にて、地域移行・地域定着の促進事業の一環として、「令和4年度第一回ピア活動」を開催し5名の参加がありました。「ピア活動」は、亙理町内にお住いの精神障害のある方を対象に、共通するテーマに沿って、「こんな時どうしてる?」「その気持ち分かる!」とアイディアや気持ちを分かち合う場で、令和三年度から始めた取り組みです。

はじめに、ルールについて確認し、「参加者全員が安心して話せる場作り」を行いました。その後、話し合いたいテーマを決め、そのテーマに沿って、自分の経験談や意見を出し合いました。参加者からは、「当事者同士だからこそ共感できることもあり、安心して話せる。」「参加する前はすっきりしない気分だったが、気持ちを共有できてすっきりした。」などの感想が聞かれました。

次回は9月に開催する予定です。参加者の方々が、安心して主体的に参加できるよう取り組んでいきたいと思えます。  
 (馬場美和)



在宅介護を応援します!!

ケアイ調剤薬局

〒982-0031 仙台市太白区泉崎1丁目34-16  
Tel・Fax 022-743-3161

1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)

ありのまま舎後援会

令和3年度も引き続きコロナ禍での活動となりましたが、会員の皆様から継続して会費の納入をいただきました。ありのまま舎への寄付は2,369,871円(前年度より約16万円減)となりました。

今年度も感染状況をみながらの活動になりますが、皆様のご協力をお願い申し上げます。(新規会員の方も随時募集しています!)

令和3年度 会計決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日 社会福祉法人ありのまま舎後援会

Table with 5 columns: 項目, 令和3年度予算(A), 令和3年度決算(B), 増減(B)-(A), 摘要. Rows include 前受け金, 会費, コンサート, ベンダー自動販売機, 寄付, 預金利子, 次期繰越金(R4年度分), 合計, 会議費, 通信費, 手数料, 事務費, コンサート経費, 次期繰越金(令和4年度分), ありのまま舎への寄付, 合計.

【令和4年3月31日現在】法人29社・個人128名・賛助31名

【未収金】法人10法人(200,000円)・個人16名(160,000円)・賛助4名

上記のとおり、令和3年度 社会福祉法人ありのまま舎後援会会計の決算を報告いたします。

令和4年6月25日 会長 後藤 東陽 (Seiwa)

社会福祉法人ありのまま舎後援会の帳簿、通帳の照合の結果、会計執行が適切に処理されていることを認めます。

令和4年6月25日 監事 高橋 正 (Masahiko)



「支援頂きありがとうございます  
ございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】  
22 6/25〜7/24

(鈴木一彦)

【バザー提供】  
22 6/28〜7/27

【ショップ提供】  
22 7/16

(栗原市)  
有限会社アルコン

ありがとうございました。  
(川尻誠)

ボトルカンパありがとうございます  
ございました(敬称略)

22 6/25〜7/24  
フレッシュフードモリヤ大学病  
院前店(青葉区)

24, 105円  
お客様の目につきやすい場所

にカンパボトルを設置して頂  
き、心より感謝申し上げます。  
皆様よりの温かなお気持ちを  
硬貨で一杯のボトルより感じ  
ました。  
(鈴木一彦)

(鈴木一彦)

【バザー開催日の「案内」  
《9月》

- 1日(木) ヨークマルシエ大和町店 (若林区)
- 6日(火) ヨークベニマル山田鉤取店 (太白区)
- 8日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば (宮城野区)
- 13日(火) ヨークベニマル南吉成店 (青葉区)
- 20日(火) ヤマザワ茂庭店 (太白区)
- 22日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば (宮城野区)
- 24日(土) ありのままショップセル (仙台ありのまま舎)
- 27日(火) 袋原(太白区・向日葵ライ  
フサポートセンター)

ありのまま舎後援会(敬称略)

22 6/15〜7/25  
【2022年度個人会費】

以上三口

【2022年度法人会費】

(仙台市) 東北電力株式会社  
以上一口

【2021年〜2023年度  
個人会費】

【2022年度賛助会費】

全国からありがとうございました。  
(事務局 佐藤環)

【自販機販売設置支援】

◆サントリーブ・バレッジ  
6月分の売上の一部をご寄付  
頂きました。

こくみん共済coop  
宮城推進本部 1,710円

ありのまま舎(自立ホーム・  
太白ありのまま舎・サポートケ  
ア泉南・亘理ありのまま舎)  
10,705円

◆株式会社ミチノク

22 4〜6月分売上  
日下亜弥 940円  
泉南エリアコミュニティ地域  
生活支援拠点 7,794円



「協力ありがとうございます  
ございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付  
けを、仙台北高等学校JRC有  
志・東北学院榴ヶ岡高等学校有  
志・個人の皆様に感染症対策を  
取りながらお手伝いいただきま  
した。◆会報の折り込みは、日  
本基督教団東北教区婦人会の仙  
台北教会、仙台長町教会の皆様  
に、教会内にてお手伝いいた  
しました。

◆バザー会では、販売や片付け  
などお手伝いを継続してお手伝  
いいただいています。ショップ  
セルの会場でも準備や片付け  
等お手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆仙台シルバーネットの皆様  
による「読書会」◆茂庭台ボラン  
ティアグループの皆様による  
「気ままに書く会(書道)」◆宮  
城県車いすダンス協会様による  
「車いすダンス」など施設内  
で行う活動は、感染予防対策にお  
いて基本的に「家族のみ入館可  
能としているためお休みさせて  
いただいております。

沢山の皆様のお力を借りてあ  
りのまま舎の活動が成り立って  
いることを心より感謝いたしま  
す。コロナウイルスによる感染  
症が収束し、一日も早く直接お  
会いできますことを楽しみにして  
おります。  
(中村悦子)

贈る人 贈られる人の気持を大切に...



FLOWERED  
花のフラワード



オンラインショップでは  
24時間ご予約承ります。

<http://www.flowered.jp/>

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-2-9 TEL022-375-4411  
 泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311  
 北仙台店 仙台市青葉区昭和町3-40 TEL022-728-4411